

こどもえんだより

文責 松井

夏の思い出と共に、なんだか一回り大きくなったようなたくましい姿で、元気に遊んでいる子ども達、季節はもうすっかり秋です。秋の自然は子ども達の宝箱。目を輝かせながらどんぐりや色づいた葉を見つけて教えてくれます。色で感じる日本の自然…秋は特に色鮮やかな素敵な季節です。



さて、今月は『直接体験』についてを紹介いたします。例えば、絵や写真で見えるいもやひまわりは、その一枚にすぎないのですが、実物は大きさが様々で、匂いも触った感触も異なります。その姿に一つ一つ違いがある事が、子ども達の興味を高めます。こども園では畑のいも拾いをしました。自分で拾って重さを感じ、感触や形を感じる事が一緒になって記憶に残ります。収穫した日の給食では、蒸かしたいもを食べる経験が加わり、この事により、この時期に収穫出来るいもの形と匂いと味が同時に思い出されることとなります。これらは写真で見える経験との大きな違いです。



先日、ベランダで、ひまわりの花が咲き終わった後に、種取りの経験をしていました。友達との種の大きさや数の違いに「あれ？なんでだろう？」と、子どもの発想や興味が引き出され学びへと繋がっていました。答えを教えるのではなく、子ども達と一緒に疑問や意見を出し合って実際に試していく経験こそが直接体験として蓄積されていく事になります。身体も心もあらゆる側面が著しく発達する幼児期に多様な『直接体験』の機会をどれだけ作れるかを意識し、保育に努めていきたいと思えます。

- コロナ禍で今もなお影響を受けている日々の保育活動です…しかし、子ども達の今年一年は一度きりです。出来る方法を模索し、少しでも多くの経験を積み重ねていけるよう引き続き考えていきたいと思えます。



《園児からのプレゼント》～以上児～

- ①お散歩から帰って来た子ども達…玄関で「おかえり～」と出迎えると、どの子もお散歩バックやポケットの中に溢れるほどのどんぐりを詰め込んでいました。「見てこれ～！」と目をキラキラさせながら見せてくれた後、「園長先生欲しいの？」と1人の子が私の手にそっとどんぐりを2つくれました。園の机の上に飾り、見るたびに秋を感じています。嬉しい秋のプレゼント♪ 子ども達が持ち帰った時には、是非ご家庭でも秋を感じて下さいね。



- ②9月の初めに『園長先生！これお誕生会の手品に使っていいよ！』と、プレゼントをもらいました。卵ケースとスズランテープでした。毎月のお誕生会には、子ども達が楽しめるようなお楽しみをしているのですが…『ありがとう』と受け取った後、さてどうやって活用しようかな？とちょっとしたプレッシャーを感じています。芸術の秋…プレゼントしてくれた材料で、子ども達が驚くような芸術的なものに変化させようと奮闘中！保育士の力の見せどころです！10月のお誕生会に喜んでもらえるよう頑張ります。



《ニッコリの共感》～未満児～

お散歩しながら秋の風を受け、何かを見つけては先生や友達と目が合う。おやつ時間、お友達と目が合う。言葉がなくても目だけでにっこり。横の子もにっこり。お友達がにっこりして目が合うと自分もにっこり。にっこりしているお友達の姿を見て遠くからもにっこり。にっこりってうつるんですね。見ている側もにっこり。ただそれだけですが、シンプルに楽しいにっこりを共感している姿が見ていて嬉しい育ちです。



【敬老の日】

- 敬老の日には、祖父母の方へむけ、子ども達からのプレゼントをお届けしました。（ご家庭にもご協力を頂きありがとうございます。）祝日やその季節ならではの日本の風習等も大切にしていきたいものです。

緊急事態宣言が延長され、9月25日（土）に予定していた運動会が、10月2日（土）に延期となりました。台風がどのように影響してくるかが、心配されるころではありますが、開催出来る事を信じています。縮小した形ではありますが、当日は子ども達の姿に沢山の拍手で応援をお願いいたします。